

宝塚第一病院ニュース

TAKARAZUKA DAIICHI HOSPITAL NEWS

発行 宝塚第一病院
広報委員会



2016年 初夏号
(2016年5月10日発行)

宝塚市向月町 19-5
E-mail somu@takarazuka-daiichi-hp.or.jp



着任しました



麻酔科医師 加藤 絵美

はじめまして、平成 28 年 4 月 1 日から宝塚第一病院麻酔科に赴任致しました、加藤絵美です。平成 17 年卒業後、大阪医療センターで 4 年、関西労災病院で 7 年勤務していました。

宝塚第一病院では手術麻酔を担当させていただきます。手術や麻酔は怖いというイメージを抱いている患者様も少なくありませんので、安心して手術を受けていただけるように、術前・術後診察では詳しい説明、丁寧な対応を心掛けています。より安全で術後の痛みの少ない麻酔管理ができるよう努力していきます。よろしくお願いします。



事務長 安藤 良彦



はじめまして、今年 2 月 16 日から事務長として着任いたしました、安藤良彦と申します。いま、この原稿を書いておりますのは 4 月 25 日ですので、着任 2 か月と少し過ぎたところです。

もとより、京都で生まれ育ち、この病院業界で 30 年近く働かせていただいております。医療事務から始まり、事務畑を歩いてまいりました。振り返れば、入職したころは老人医療や健康保険は無料の時代でした。現在と比べますと、隔世の感を禁じえません。

医療制度や診療報酬改定に携わってまいりますと、世の中の移り変わりを身を以て知らされます。病院の冬の時代と言われ久しいですが、これまでの経験や知識など微力ながら病院を通して、地域の皆様の健康にお役に立てればと考えております。

宝塚第一病院に新入職員が 35 名入職しました



配属任命式



オリエンテーション

講義風景



宝塚第一病院 検査室を紹介します



こんにちは、宝塚第一病院臨床検査室の紹介をします。

男性技師2名と女性技師3名の合計5名の臨床検査技師で日常業務を行っています。

臨床検査は、病気の診断・治療の補助的な判断の材料として、又、健康診断でも行います。

業務の内容は大きく分けて3つに区別されます。一つ目は、患者様から採取された材料（血液・尿・糞便や組織など）を使用する検体検査。二つ目に、患者様に直接触れて行われる生理検査（心電図・脳波・肺活量など）。三つ目に、患者様の目的臓器に超音波ビームを当てて患者様の内臓画像を映し出す超音波検査があります。

又、インフルエンザ等の感染症の迅速検査の充実を図っております。その他に病院内で行えない検査（血液検査・病理検査や細菌検査）は外部委託業者に依頼しています。

平成27年9月より、神経伝導速度検査を開始しています。糖尿病の病態の進行具合や、手足の神経のシビレ等の整形外科領域の診断に威力を発揮します。

患者様の検査結果は正確にかつ迅速に報告するのが臨床検査室の最大の務めです。

患者様の混み具合や検査の内容によってお待ちいただく時間が長くなる場合がございます。

ご迷惑をおかけする事もありますが、ご理解いただきますよう宜しくお願いいたします。

検査に関するご質問等がございましたら、ご遠慮なくいつでもご相談下さい。

患者様がお一人お一人が一日も早くお元気になられるよう、これからも臨床検査室一同努力してまいります。



食中毒を予防しましょう！

食中毒の症状は、
下痢・腹痛・嘔吐・発熱
風邪症状の時もあります

これから夏にかけて、食中毒の発生がピークを迎えます。
家庭でも食中毒は発生するので、予防につとめましょう。

食中毒予防の3原則

「つけない・ふやさない・やっつける」

食中毒予防の3原則にもとづく家庭でできる6つのポイント

1. 食品の購入

- ・消費期限を確認し、新鮮な物を購入しましょう

2. 家庭での保存

- ・冷蔵庫は10度以下、冷凍庫は-15度以下に維持しましょう
- ・詰めすぎと開け閉めに注意して下さい

3. 下準備

- ・包丁やまな板は、肉、魚、野菜と別々に使って洗いましょう
- ・まな板は洗った後は熱湯をかけて殺菌しましょう
- ・ふきん・スポンジは漂白剤で消毒をして清潔にしましょう

4. 調理

- ・中心部の温度は75度1分以上で、十分に加熱しましょう

5. 食事

- ・温かい料理は65度以上、冷たい料理は10度以下で！
- ・室温に長く放置せず、調理終了後2時間以内に食べましょう

6. 残った食品

- ・残った食品は早く冷えるように小分けして保存しましょう
- ・温め直しは十分に加熱しましょう

食中毒の症状があれば、医療機関を受診しましょう